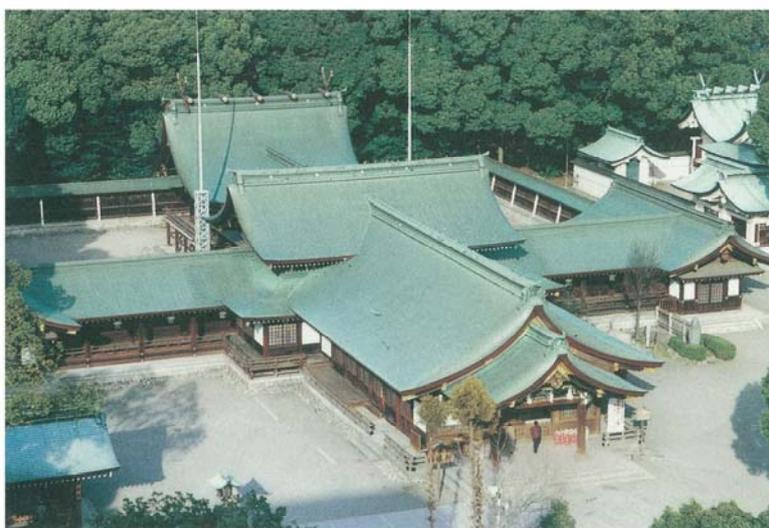


# 中小企業景況調査報告書

平成29年度第3・四半期（10～12月）

真清田神社



Masumida Shrine

## 目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所



# 調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施  
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり  
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(49)
(その他製造業)	(12)
卸売業	12
小売業	11
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (49) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	23
染色整理加工業	9
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	49

- VI. 分析 方法
1. DI (Diffusion Index) 分析  
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
  2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分析 項目
1. 前年同期比  
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
  2. 前 期 比  
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
  2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
 

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

# 今 期 の 概 況

景況は緩やかに持ち直している。

## 1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上のDI 値で前期実績を上回り、資金繰り、従業員のDI 値で前期実績横ばい、採算のDI 値で前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、採算のDI 値で、今期実績を上回り、資金繰り、従業員のDI 値で、今期実績を下回る見通し。

### 指標別の状況

- 業況DI 値は、前期実績▲35.0 から▲26.0 (9.0 ポイント増) となり、来期は▲17.0 (9.0 ポイント増) となる見通し。
- 売上DI 値は、前期実績▲30.0 から▲21.0 (9.0 ポイント増) となり、来期は▲19.0 (2.0 ポイント増) となる見通し。
- 採算DI 値は、前期実績▲24.0 から▲33.0 (9.0 ポイント減) となり、来期は▲24.0 (9.0 ポイント増) となる見通し。
- 資金繰りDI 値は、前期実績▲13.0 と同様、横ばいとなり、来期は▲15.0 (2.0 ポイント減) となる見通し。
- 従業員DI 値は、前期実績▲5.0 と同様、横ばいとなり、来期は▲10.0 (5.0 ポイント減) となる見通し。

### 繊維製造業の状況

- 今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、従業員のDI 値で、今期実績を上回り、資金繰り、採算のDI 値で、前期実績を下回った。
- 来期は、業況、売上、採算のDI 値で、今期実績を上回り、資金繰りのDI 値で、今期実績横ばい、従業員のDI 値で、今期実績を下回る見通し。

## 2. 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を上回った。

### 指標別の状況

- 業況DI 値は、前期実績▲26.0 から▲11.0 (15.0 ポイント増) となった。
- 売上DI 値は、前期実績▲17.0 から▲6.0 (11.0 ポイント増) となった。
- 資金繰りDI 値は、前期実績▲16.0 から▲11.0 (5.0 ポイント増) となった。

### 繊維製造業の状況

- 今期(表 9、10 参照)は、業況、資金繰りのDI 値で、前期実績を上回り、売上のDI 値で、前期実績横ばいとなった。

## 3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(44 件、25 事業所)に比べ件数、事業所とも増加している。

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 52 件(32 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』14 件、『車両・運搬具』13 件、『工場建物』『OA機器』各 7 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 36 件(24 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』13 件、『OA機器』6 件、『工場建物』『付帯施設』各 4 件となっている。

## 4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『従業員の確保難』を挙げている。

# 業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

## A 社（製造業〈燃糸〉）

原材料であるウールの値段が高い。例年、オフシーズンの時期は値下がりするが、本年は高止まりしたままであり、取引先と値段が折り合わず利益がでない。当社は、ユニフォームや制服関連で安定した受注がある。官公庁等 オリンピックに向けユニフォーム等を一新する企業も増えるため今後も受注増が見込まれる。

## B 社（製造業〈織物〉）

自動車メーカーの不正問題が報道された後、カーシートの受注数量が減少傾向にある。

## C 社（製造業〈織物〉）

原料である羊毛、獣毛（モヘア、アルパカ）の価格が急騰しているが、販売価格への転嫁は難しい。よって、粗利益率が低下し、採算悪化は必至である。

## D 社（製造業〈織物〉）

秋に入り、デパートでの衣料販売はやや好転しているが、われわれ毛織物工場の受注増には至っていない。

## E 社（製造業〈染色〉）

既存取引先からの受注が減少しているため、新規顧客開拓で落ち込み分をカバーしている状況である。また、生き残りのため自社製品の開発に取り組んでいる。

## F 社（製造業〈食品〉）

前年同期に比べ売上単価は不変だが、売上数量が増加している。当社の場合、分散取引に心がけているため、どこか1社の取引が終了しても売上全体への影響は左程ない。また、最低賃金が上がっているため、人員増は考えず、現人員で繰り返し回している。

## G 社（製造業〈金属製品〉）

仕事の受注増加が続き生産設備不足の状況である。受注対応するため工場建物を含め設備投資を行っている。

## H 社（卸売業）

販売先であるブティックの後継者が高齢化しており、ほとんどの販売先で後継者がいない状況である。よって、販売先が減少傾向で、当社の売上も減少気味である。

## I 社（小売業）

大型店の台頭やネットでの安売りなど当社を取り巻く環境は厳しい状況にあるものの、12月にキャンペーンを実施し、冬物家電の需要拡大を図りたい。

## 景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H28. 10～12月	H29. 1～3月	H29. 4～6月	H29. 7～9月	今 期 H29. 10～12月	来期の見通し H30. 1～3月
業 況	▲35.0	▲23.0	▲25.0	▲35.0	▲26.0	▲17.0
売 上	▲35.0	▲31.0	▲26.0	▲30.0	▲21.0	▲19.0
採 算	▲26.0	▲22.0	▲22.0	▲24.0	▲33.0	▲24.0
資金繰り	▲12.0	▲ 8.0	0.0	▲13.0	▲13.0	▲15.0
従 業 員	▲ 2.0	1.0	▲ 4.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲10.0

## 景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H28. 10～12月	H29. 1～3月	H29. 4～6月	H29. 7～9月	今 期 H29. 10～12月	来期の見通し H30. 1～3月
業 況	▲55.1	▲44.9	▲42.9	▲57.1	▲38.8	▲26.5
売 上	▲49.0	▲44.9	▲40.8	▲51.0	▲32.7	▲24.5
採 算	▲40.8	▲38.8	▲32.7	▲42.9	▲44.9	▲36.7
資金繰り	▲22.4	▲10.2	▲ 4.1	▲16.3	▲18.4	▲18.4
従 業 員	▲ 2.0	0.0	2.0	▲ 6.1	▲ 4.1	▲14.3

# 業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (2)	8 (8)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	11 (12)	▲ 26.0  (▲17.0)
	不変	4 (4)	28 (33)	7 (10)	7 (7)	6 (5)	52 (59)	
	悪化	1 (1)	25 (20)	4 (2)	4 (3)	3 (3)	37 (29)	
売上	増加	2 (0)	11 (9)	2 (0)	1 (1)	1 (3)	17 (13)	▲ 21.0  (▲19.0)
	不変	3 (5)	24 (34)	6 (7)	6 (7)	6 (2)	45 (55)	
	減少	2 (2)	26 (18)	4 (5)	4 (3)	2 (4)	38 (32)	
採算	好転	2 (1)	5 (5)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	7 (8)	▲ 33.0  (▲24.0)
	不変	3 (4)	29 (33)	8 (10)	7 (7)	6 (6)	53 (60)	
	悪化	2 (2)	27 (23)	4 (2)	4 (3)	3 (2)	40 (32)	
資金繰り	好転	2 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	3 (2)	▲ 13.0  (▲15.0)
	不変	5 (6)	50 (50)	10 (10)	8 (8)	8 (7)	81 (81)	
	悪化	0 (1)	11 (11)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	16 (17)	
従業員	増加	0 (1)	9 (4)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	11 (6)	▲ 5.0  (▲10.0)
	不変	7 (6)	43 (46)	8 (12)	10 (10)	5 (4)	73 (78)	
	減少	0 (0)	9 (11)	3 (0)	1 (1)	3 (4)	16 (16)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

# 新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	32	来期	計画している ※2	24
	(事業所数)	実施していない	68	(事業所数)	計画していない	76

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	3 件	5. 付帯施設	6 件	4 件
2. 工場建物	7 件	4 件	6. O A 機器	7 件	6 件
3. 生産設備	14 件	13 件	7. 福利厚生施設	2 件	1 件
4. 車両・運搬具	13 件	3 件	8. その他	2 件	2 件
			合計	52 件	36 件

複数回答可

## 業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5
-----

	事業所数	6	23	9	3	8	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (4)	▲ 38.8  (▲26.5)
	不変	3 (4)	5 (9)	6 (6)	3 (2)	5 (7)	22 (28)	
	悪化	3 (2)	16 (11)	3 (3)	0 (1)	1 (0)	23 (17)	
売上	増加	0 (1)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	7 (4)	▲ 32.7  (▲24.5)
	不変	4 (3)	5 (12)	2 (4)	3 (3)	5 (7)	19 (29)	
	減少	2 (2)	14 (9)	6 (5)	0 (0)	1 (0)	23 (16)	
採算	好転	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (2)	▲ 44.9  (▲36.7)
	不変	3 (3)	10 (11)	3 (4)	3 (3)	4 (6)	23 (27)	
	悪化	3 (3)	13 (11)	6 (5)	0 (0)	2 (1)	24 (20)	
資金繰り	好転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 0	▲ 18.4  (▲18.4)
	不変	4 (5)	18 (19)	8 (7)	3 (2)	7 (7)	40 (40)	
	悪化	2 (1)	5 (4)	1 (2)	0 (1)	1 (1)	9 (9)	
従業員	増加	0 (0)	4 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (2)	▲ 4.1  (▲14.3)
	不変	4 (5)	17 (18)	8 (7)	1 (2)	7 (6)	37 (38)	
	減少	2 (1)	2 (3)	1 (2)	1 (1)	1 (2)	7 (9)	

※ 採算は経常利益で判断

## 新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6
-----

設備投資	今期	実施した ※1	16	来期	計画している ※2	8
	(事業所数)	実施していない	33	(事業所数)	計画していない	41

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	1 件	5. 付帯施設	2 件	1 件
2. 工場建物	3 件	1 件	6. O A 機器	3 件	0 件
3. 生産設備	7 件	6 件	7. 福利厚生施設	1 件	0 件
4. 車両・運搬具	5 件	0 件	8. その他	0 件	0 件
			合 計	22 件	9 件

複数回答可

# 景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H28.10～12月	H29.1～3月	H29.4～6月	H29.7～9月	今 期 H29.10～12月
業 況	▲23.0	▲15.0	▲12.0	▲26.0	▲11.0
売 上	▲ 8.0	▲30.0	▲ 1.0	▲17.0	▲ 6.0
資金繰り	▲11.0	▲ 8.0	▲ 1.0	▲16.0	▲11.0

# 業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	8	1	1	1	12	▲ 11.0
	不 変	5	37	9	8	6	65	
	悪 化	1	16	2	2	2	23	
売 上	増 加	2	14	5	2	2	25	▲ 6.0
	不 変	2	27	4	7	4	44	
	減 少	3	20	3	2	3	31	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	0	2	▲ 11.0
	不 変	7	49	11	10	8	85	
	悪 化	0	10	1	1	1	13	

## 景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H28.10～12月	H29.1～3月	H29.4～6月	H29.7～9月	今期 H29.10～12月
業況	▲38.8	▲24.5	▲14.3	▲44.9	▲18.4
売上	▲28.6	▲40.8	0.0	▲22.4	▲22.4
資金繰り	▲22.4	▲12.2	▲6.1	▲18.4	▲14.3

## 業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	23	9	3	8	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	0	2	0	0	3	5	▲ 18.4
	不変	4	11	7	3	5	30	
	悪化	2	10	2	0	0	14	
売上	増加	1	4	0	0	3	8	▲ 22.4
	不変	4	6	6	2	4	22	
	減少	1	13	3	1	1	19	
資金繰り	好転	0	1	0	0	0	1	▲ 14.3
	不変	5	18	8	3	6	40	
	悪化	1	4	1	0	2	8	

# 『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○従業員の確保難	○請負単価の低下・ 上昇難 ○民間需要の停滞	○下請業者の確保難 ○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○従業員の確保難	○人件費の増加	○需要の停滞
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○商品在庫の過剰 ○仕入単価の上昇
小売業	○従業員の確保難 ○需要の停滞	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○消費者ニーズの 変化への対応 ○店舗の狭隘・老朽化 ○仕入単価の上昇
サービス業	○従業員の確保難	○利用者ニーズの 変化への対応	○人件費の増加

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	6
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	2
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	5
官公需要の停滞	5
民間需要の停滞	6
その他 (社員教育)	2
合 計	41

### 繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	1
製品ニーズの変化への対応	31
生産設備の不足・老朽化	26
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	35
原材料の不足	0
人件費の増加	27
原材料費・人件費以外の経費の増加	11
製品(加工)単価の低下・上昇難	33
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	4
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	18
熟練技術者の確保難	19
需要の停滞	62
その他	3
合 計	275

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	3
製品ニーズの変化への対応	3
生産設備の不足・老朽化	6
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	4
原材料の不足	0
人件費の増加	12
原材料費・人件費以外の経費の増加	0
製品(加工)単価の低下・上昇難	7
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	16
熟練技術者の確保難	7
需要の停滞	9
その他	0
合 計	72

### 卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1
商品在庫の過剰	5
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	7
仕入単価の上昇	5
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	4
需要の停滞	22
その他	0
合 計	59

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	5
同業者の進出	3
購買力の他地域への流出	2
消費者ニーズの変化への対応	4
店舗の狭隘・老朽化	4
駐車場の確保難	1
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	4
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	8
需要の停滞	8
その他 (インターネット販売、通販)	3
合 計	50

### サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	1
利用者ニーズの変化への対応	6
店舗施設の狭隘・老朽化	0
人件費の増加	5
人件費以外の経費の増加	3
利用料金の低下・上昇難	2
材料等仕入単価の上昇	1
金利負担の増加	2
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	17
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	3
その他	0
合 計	49

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

図 1

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

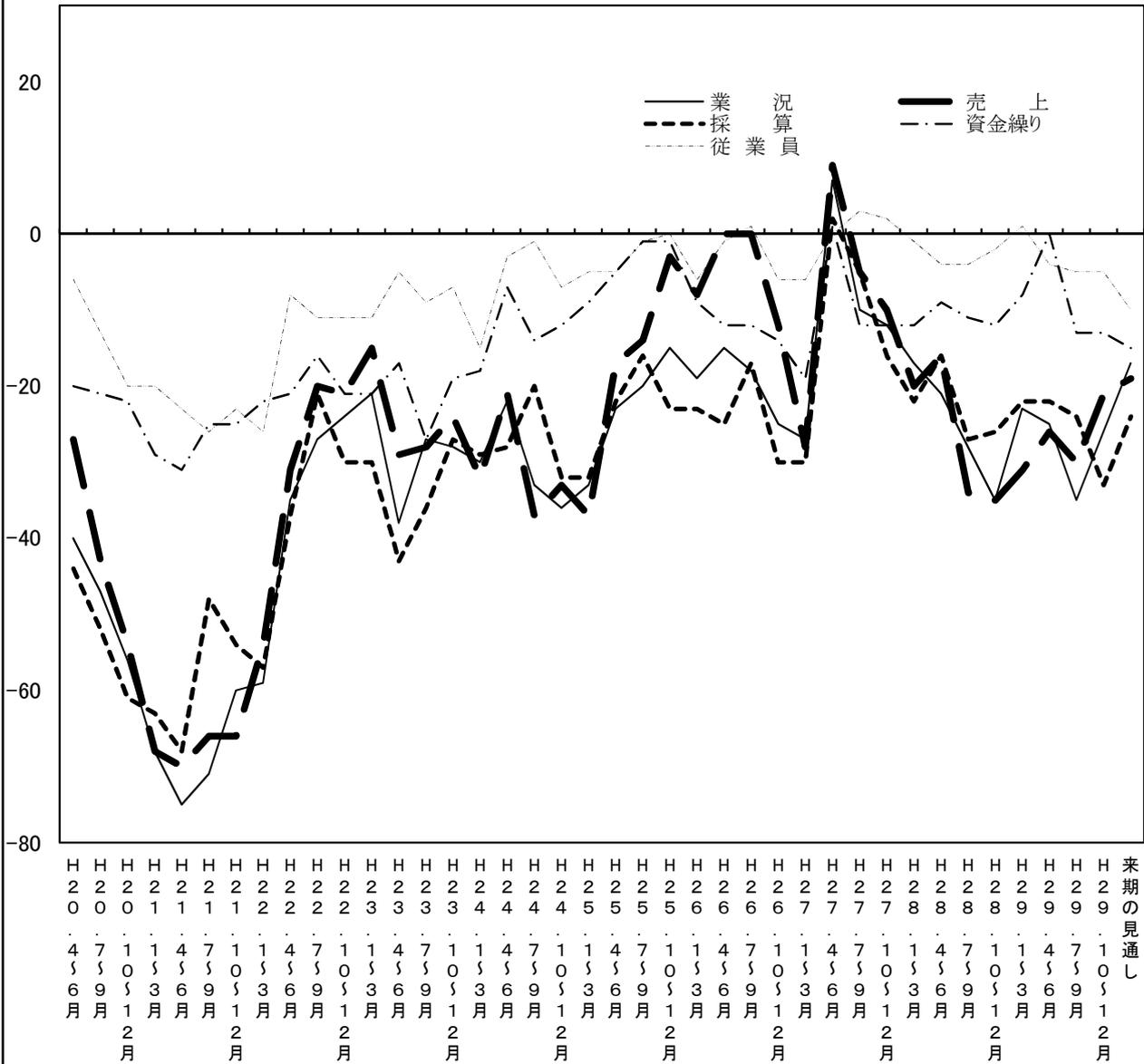


図 2

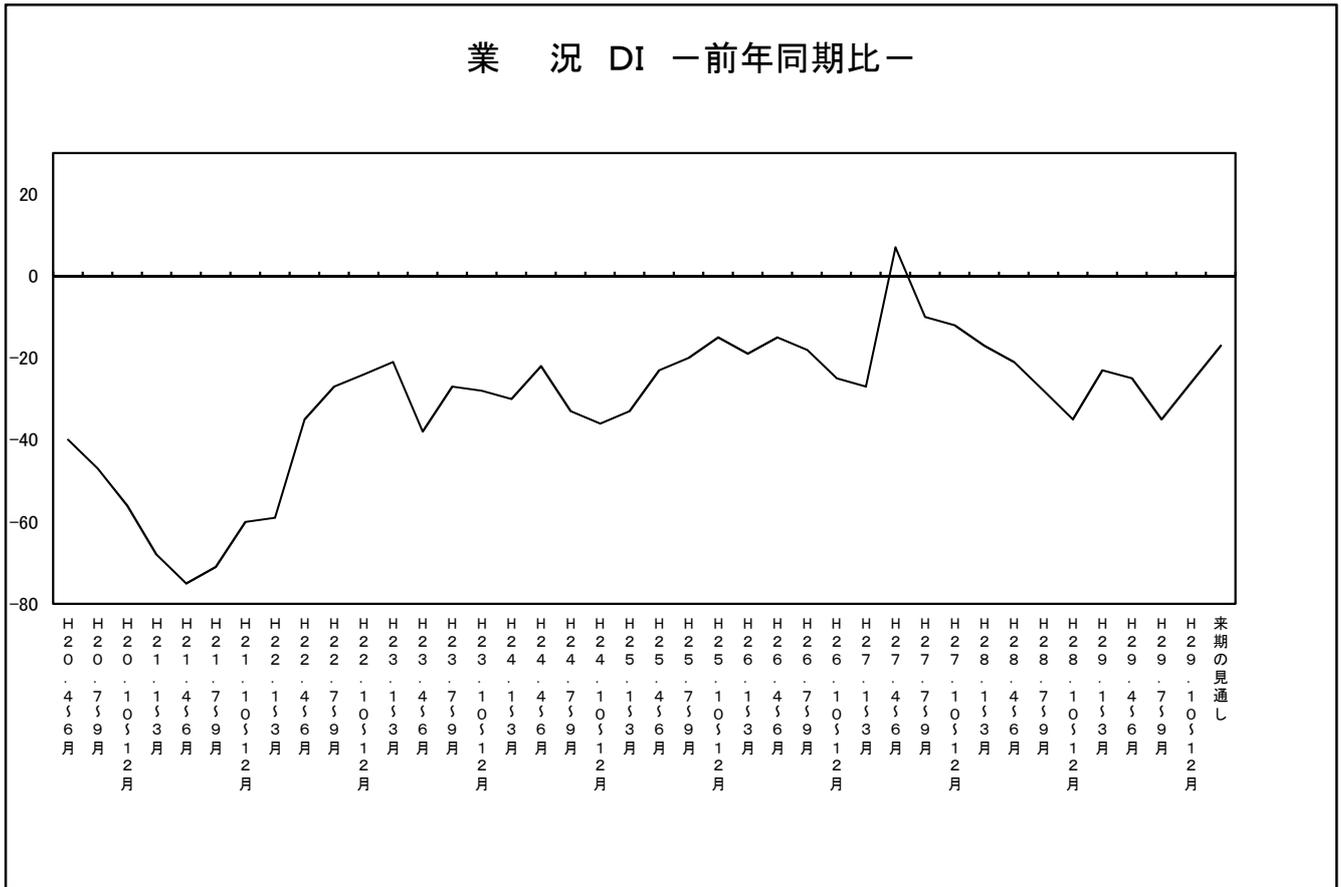


図 3

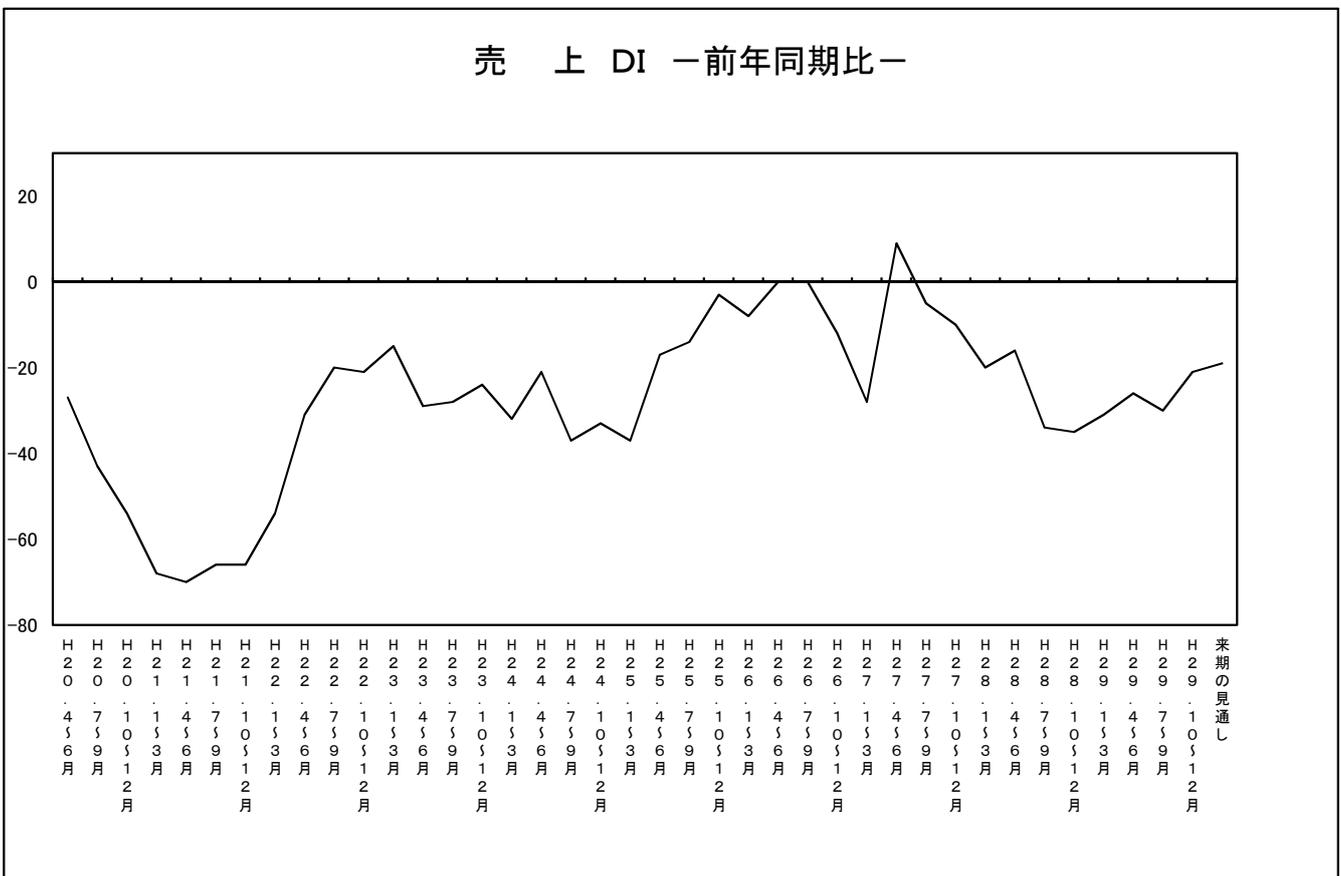


図 4

採 算 DI -前年同期比-

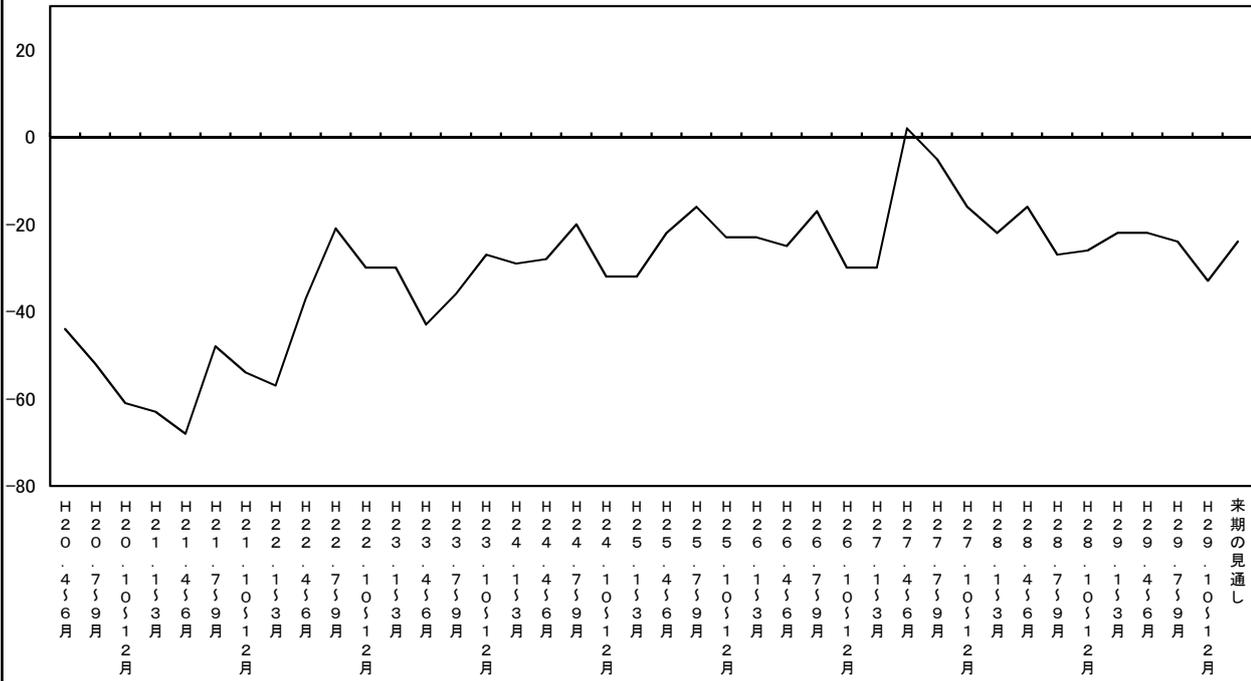
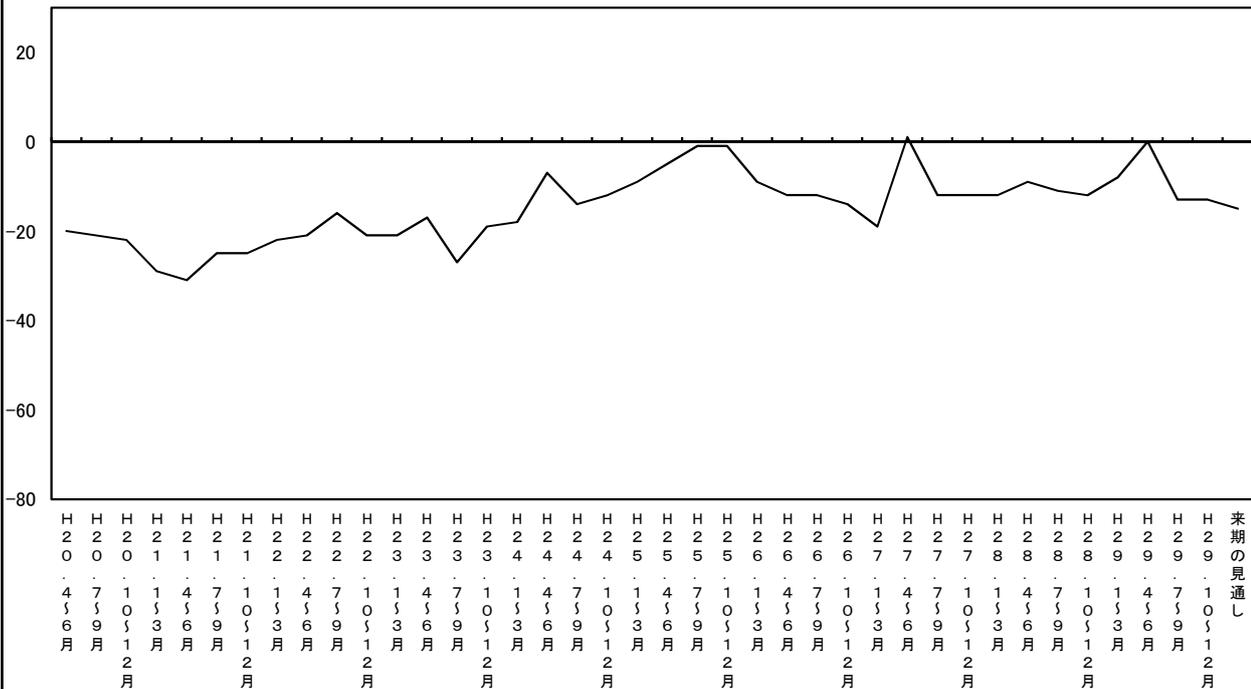
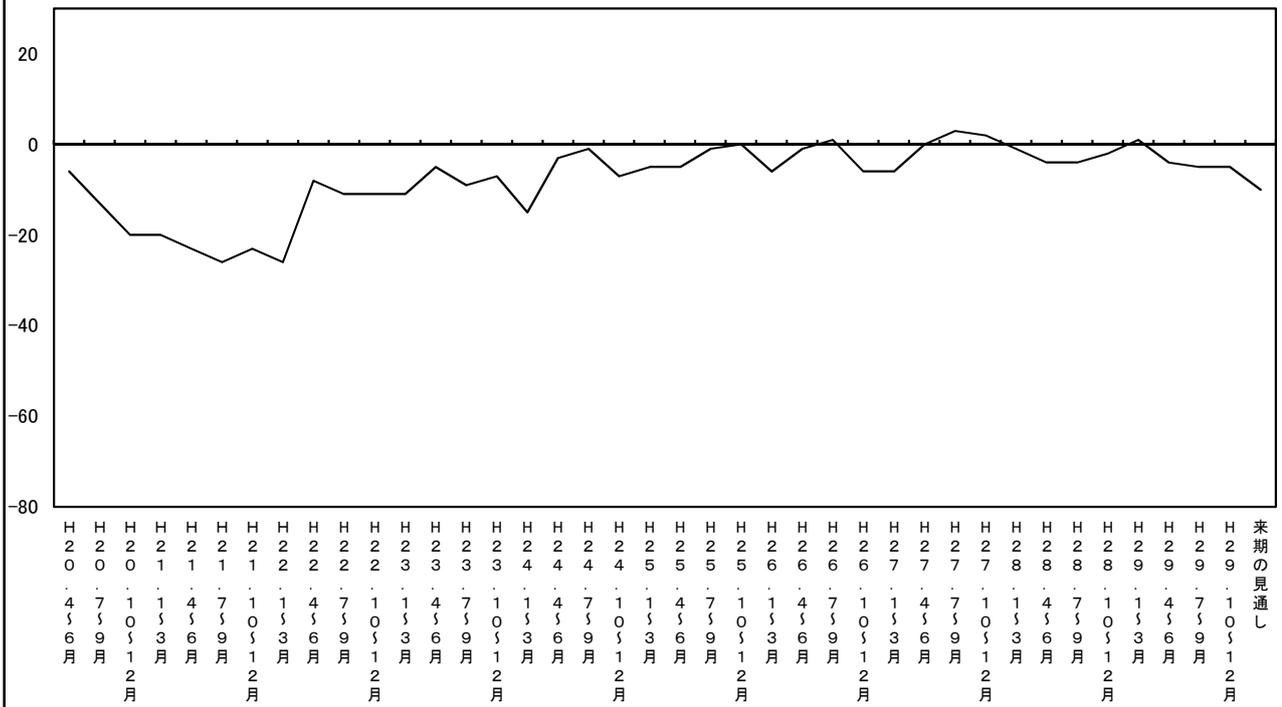


図 5

資金繰り DI -前年同期比-



従業員 DI - 前年同期比 -







**一 宮 商 工 会 議 所**  
**中 小 企 業 相 談 所**

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail [soudan@ichinomiya-cci.or.jp](mailto:soudan@ichinomiya-cci.or.jp)